

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 総合学科としての特色ある教育活動を行っていますか。	① 進学型総合学科としての教育課程に、満足している生徒が80%以上である。	・選択科目及び群編成を検証し、総合学科の特色を生かした、進学型の教育課程になるよう更に改善を図る。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までで現行の教育課程をひととおり実施してある程度課題も見えてきたため、進学型総合学科の特色を生かしたより良い教育課程を目指して、再来年度からの実施を目標に改善に着手し始めた。現在および今後予想される生徒の実態と次の新学習指導要領の方向性を踏まえ、各方面からの意見を集約し、前橋東高校らしい特色ある教育課程の編成を進めていく。 ・コロナ禍で中断していた教員間の授業参観を再開して、効果的な指導方法について情報を共有して改善に取り組んだ。生徒の学習意欲を育てる授業を目指し、引き続き授業改善に努めていく。 	①特色のある高校学校づくりが求められる中、多様な進路希望に対応する教育課程の実施により結果も出している。また継続的な教育課程の見直しや授業改善により、自己評価をBとする点から、課題認識と改善のサイクルが機能していると判断できる。 ②習熟度別や少人数教育により進学型総合学科という特色を活かした学びを創出できていると評価する。意欲と結果に応じた習熟度クラスの移動が可能だとさらに良い。
		② 習熟度別・少人数制の授業形態に、満足している生徒が80%以上である。	・習熟度別授業等、効果的な指導を推進するとともに、主体的・対話的視点から授業改善を図る。	A	A	A		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③ 「授業が分かりやすい」と、評価している生徒が80%以上である	・双方向授業を推進し、学力の定着を確認しながら、生徒が主体的・能動的に授業に取り組める授業を展開する。	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学びの振り返りを通じて学力の定着を確認するだけでなく、主体的な学びへとつながる授業を展開する。家庭学習の充実につながる授業についても教職員全体で取り組む。 ・現行の教育課程が一巡したことを踏まえ、教科・科目の学習内容や目標について継続すべきものは維持し、見直しが必要な部分は改善を行うことで、生徒が明確な目標を持ち自律的に学習に取り組める環境を引き続き整えていく。 ・教科科目により差はあるものの、ICTを活用した授業においては多くの教職員が教育効果を上げている。授業公開や授業研究などの教員研修の機会をさらに充実させ、生徒の学力向上に取り組んでいくことが課題である。 ・教科内および、教科間の情報共有を充実させ、様々なアプローチから学力向上を図り、生徒の進路希望に応じた指導を推進する。 	③は概ね満足している生徒が多いが、外部評価としてはBにとどまった。原因は授業のわかりやすさで生徒体感にはばらつきが示唆される点にある。基礎的な知識と技能の定着と主体的な学びとのバランスが重要である。また、自己評価からは共通理解の醸成や進路プランニングの効果的な実施が改善の鍵であることが窺える。一方で双方向性やICT活用の取組は適切で、改善の方向性も明確である。 ④は自己・外部ともAで安定しており、進路に直結する学習指導は十分機能していると判断できる。 ⑤は総合評価Aより、校内の公開・研究の場が確保され、授業改善の仕組みが機能している旨が読み取れる。 ⑥は自己・外部とも評価はAで、進路実現との接続性が保たれている。
		④ 進路実現に向けた学習指導が実践されていると評価している生徒が、80%以上である。	・授業目標の明確化を図るとともに、生徒が明確な達成目標を持って学習に取り組めるよう指導する。	A	A	A		
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤ 授業改善のため、教科の枠を超えて研究授業、授業公開、授業研究等を年2回以上実施する。	・ICTを活用した授業、生徒の実態に応じた柔軟な授業展開、適切な評価等の観点から、教員間の授業参観や教員研修などを通して指導方法の共有を図り、授業改善を行う。	-	-	A		
		⑥ 本校の学習指導は、進路実現に役立つと答えている生徒が80%以上である。	・教科・科目の目標を確実に達成するとともに、各生徒の進路希望を踏まえ、個に応じた指導を一層推進する。	A	A	A		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦ 生徒会活動が充実していると評価した生徒が、80%以上である。	・生徒会行事に実行委員会を設置し、生徒会役員と連携を図りながら、生徒の主体的な活動を促進する。	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の文化祭では生徒会役員・実行委員会を中心に、10月の球技大会では生徒会役員・部員を中心に工夫を凝らして企画・運営を行った。特に文化祭では1,800人を超える来場者があり成功を収めた。 ・24部（文化部9、運動部15）あり、85%以上の生徒が入部している。関東出場：カヌー、バレー女子、陸上、柔道、弓道、放送、少林寺拳法、将棋 全国出場：カヌー、陸上、柔道、放送、理科、少林寺拳法 ・学期初めの二者面談や年5回の生活アンケートを通じ、いじめの早期発見に努めた。LHRではいじめ防止について生徒が主体的にクラスごとに話し合い、その取り組みを生徒総会で共有した。 ・4～12月の欠席率は2.9%であり、昨年度同時期の2.6%から微増した。目標の3%以下は達成しているが対策が必要である。コロナ禍や価値観の多様化の中で、家庭の協力・理解も得ながら安易に学校を休まない指導を行いたい。 ・基本的な生活習慣の乱れを見逃さないという指導方針を全教職員で継続したことにより校内の秩序が安定した。また、日々の微細な乱れを放置せず、未然に防ぐ指導が、落ち着いた環境の維持に大きく寄与した。 	⑦生徒たちが中心となって運営する文化祭・球技大会は、生徒たちの主体性の育成といった観点からも、大きな強みの一つとなっている。正確な評価に向け、80%の実測値提示をすとの良い。 ⑧部活動に85%の生徒たちが参加しその活動も活発であり、上位大会への出場に代表されるように、その活動・指導は高く評価できるものがある。 ⑨いじめ防止について教員からの指導ではなく、生徒が自ら考え行動を起こす取組をしていることが素晴らしい。さらに、問題を打ち明けやすい環境の整備と第三者の気付き力の涵養が望ましい。 ⑩欠席率は基準内で目標を達成しており、学校として組織的に対応しながら一定の効果を上げていると評価することができる。一方で増加抑制策が急務とも考える。 ⑪規律は、総合評価Aを達成しており、未然防止の文化が根付いていると考える。アンケート結果からも、堅実な生徒指導が特色の一つだとわかる。併せて、エアコンやトイレの整備により、生徒の学校生活が充実すると思われる。
		⑧ 部活動が充実していると評価している生徒が80%以上である。	・本校の部活動方針に基づき、適切な運営を実施するとともに、技術・技能だけでなく人間性を高める工夫をする。	A	A	A		
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	⑨ 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていると認識している生徒が80%以上である。	・日々の観察と定期的アンケートにより状況を把握し、速やかに対応するとともに、集会等によりいじめ防止の啓発を行う。	A	B	B		
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩ 欠席率が3%以下である。	・連続して欠席した生徒に対しては、担任を中心に生徒の実態を把握し、学年と教育相談係が連携して対応する。	B	-	B		
		⑪ 本校は規律ある学校だと評価している生徒が80%以上である。	・常日頃から基本的な生活習慣の重要性を生徒に理解させるとともに、生活習慣の乱れを見逃さずに指導する。	A	A	A		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑫ 進路プランニングⅠ・Ⅱ・Ⅲに積極的に取り組んだと自己評価している生徒が80%以上である。	・進路プランニングを通して探究活動を推進し、知識や技能を身につかせ、思考力・判断力・表現力を高めるとともに、生徒それぞれの実践力の向上を図る。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートで「進路プランニングの授業に積極的に取り組んでいる」との回答は、生徒97%、保護者88%、職員80%だった。進路プランニング活動は社会課題の解決を目指す重要な学習活動であり、引き続きその意図や意義を職員、保護者、地域に発信する必要がある。 ・学校から提供される進路情報について役立っているとの評価について、生徒・保護者ともに85%を超えた。昨年度、保護者は80%に留まっていたので改善された。今後も丁寧な情報の提供を進めていきたい。 ・学校アンケートで「進路実現に向けて積極的に取り組んでいるか」の問いに対して、生徒は89%と自己肯定が高いのに対し、保護者は77%と低い。保護者としては、進路に対する取り組みや学習時間がまだ足りないとの思いが強く、引き続き生徒へ向けた進路情報の提供や学習時間増に向けた意識改革を行いたい。 	⑫生徒たちが主体的に自らのライフデザインをする力を養成することが求められる今、進路プランニングを始めとしてこうした状況に対する学びの形成ができていく様子が、評価から伺える。 ⑬生徒や保護者の上級学校への進学への関心は高く、その負担に応えた進路情報の提供がなされていると判断できる。 ⑭土曜補習や早朝補習など職員の方々の方々の負担も多いのではないかと心配である。一方で、生徒一人ひとりに向き合うことで先生の姿勢が伝わり、生徒のやる気につながるのではないかと感じる。
		⑬ 学校から提供される進路情報が役立っていると評価している生徒が、80%以上である。	・進路実現に対する意欲が高められるよう、生徒に有用な情報を収集して資料作成や講演に生かす。「進路の手引」を進路指導や面談等において積極的に活用する。	A	A	A		
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が、70%以上である。	・進路実現に向けて、生徒一人ひとりの成果と課題を明確にする。また、面談等を通して、進路実現を図るための具体的な指導を計画的に行う。	A	B	A		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑮ 本校のwebページや学年通信等の通知文には必要な情報が掲載されていると評価している保護者が70%以上である。	・保護者のニーズを的確に把握したうえで作成するとともに、教育活動の成果や緊急の連絡等に関しては即時性を高める。 ・各種行事や部活動等の様子や成果をより効果的に外部へ届けるため、インスタグラム等も活用する。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは情報発信に対する評価が昨年度から4ポイント減少し81%となった。質問項目はホームページに限定しているため、学年通信やインスタグラムなどの媒体や、スマート連絡帳の緊急連絡に対する印象は反映されていないものと思われる。来年度は評価項目と質問内容の整合に着手し、現状に対する正しい評価を把握できるように見直したい。 	⑮多様な媒体を活用し、学校の様子や成果を効果的に発信しており、保護者の満足度も高い水準にある。一方で、アンケートの改善など現状把握の精度向上にも取り組んでおり、「開かれた学校づくり」をより一層進めるための体制が整っている。
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯ ICTを使用して指導している教科が100%である。	・職員研修を実施し、活用事例を紹介する等、ICTを活用した授業改善のための場を設定するとともに、職員間の情報共有の機会を設ける。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員アンケートでは98%がICTを活用していると回答し、生徒側でも92%がICTを活用した授業改善に努めていると答えた。本年度は外部講師によるAIの活用に関する職員研修・情報の授業における講義を実施した。今後は各教科の授業実践を共有し活用の幅を広げていく。 ・91%の生徒がICTを活用して学習していると回答し、目標の90%を達成した。全学年で進路プランニングの時間に学習用端末を活用している。発表活動の場面では、生徒の活用能力が高まっていることが実感できた。 ・Google Classroomによる課題管理や委員会活動の効率化が図られている。定期考査での電子採点についても、定着が図られてきた。今後、職員のスキルアップを図ると共に、よりセキュリティの意識を向上させることが課題である。 	⑯⑰これまでの取組が実を結び、ICT利用が定着し、機器を有効に活用できる教職員・生徒がほぼ100%の様子である。今後は技術だけではなく、そうした技術を利用する際の倫理的な側面について、損得ではなく善悪といったような観点で、大人として指導していくことがより重要となる。また、効率性だけを重視するのではなく、理解の欠如にならないように、何を学習させるのかといった本質的な学びを大切にしたいと願っている。 ⑱今後は教職員の生成AIリテラシー向上も視野に入れるとより良いかと思われる。
		⑰ ICTを使用して授業や進路学習に取り組んでいると思う生徒が90%以上である。	・課題や補習、授業中の取組や進路プランニングの探究学習等で、ICTを活用する場面を積極的に設定する。	A	A	A		
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑱ 校務支援システムやGoogleワークスペース等を使用した業務改善を進めている職員が80%以上である。	・教職員に適切に情報提供を行い、ICTを活用した業務の効率化、作業時間短縮等を図る。	A	-	A		